

7. 事例集

事例名	外泊・石垣の里ミュージアム	分類	1 ツーリズム
入江に面した急斜面には民家が山の中腹まで続き、それぞれの民家は、台風や季節風から家や暮らしを守るため、軒に達するほどの石垣が整然と積み上げられている。 その景観から石垣の里として知られ、独特の家並みを形成するこの集落は「日本の美しいむら農林水産大臣賞」や「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」にも選ばれている。 また平成19年（2007年）には、(財)古都保存財団の「美しい日本の歴史的風土100選」にも選ばれ、日本を代表する石垣文化の一大景観地となっている。 (参考URL：http://www.town.ainan.ehime.jp/sight_spot/1_06_isigaki.html)		 出典：愛南町HPより	
連絡先	愛南町役場 商工観光課 ・住所：〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 ・TEL：0895-72-7315		

事例名	明星石	分類	2
			ツーリズム
班レイ岩は、室戸岬で古来より明星石と呼ばれ、四国88箇所二十四番霊場最御崎寺では、邪気退散、招福のお守りとして軒下に吊るし、珍重されてきた。 室戸阿南国定公園指定の昭和39年まで授けていたが、国定公園特別区では1木1草採取出来なくなり、お守りとしては班レイ岩を授けることが出来なくなった経緯がある。 弘法大師が虚空蔵求聞持法を修行の時、毒龍（邪気）が現れ、修行の邪魔をしに来たが、班レイ岩に反射する光によって、近寄ることが出来なかったという言い伝えがある。 「天災は忘れた頃に遣って来る」の名文句で有名な寺田寅彦は、かつて最御崎寺で住職をしていた先祖の墓参りのため、明治26年の冬に最御崎寺へ旅し、「初旅」に記している。			
連絡先	室戸市役所企画財政課 ・ 住所：〒781-7185 高知県室戸市浮津 25-1 ・ TEL：0887-22-5147 FAX：0887-22-1120 ・ メールアドレス：mr-010300@city.muroto.lg.jp		

事例名	お米のブランド化～蛇紋岩米～	分類	3
			ツーリズム
兵庫県養父郡の断層付近には蛇紋岩質の土壤がある。その岩から出るミネラル豊富な水で作られたお米をブランド化したのが蛇紋岩米である。 蛇紋岩米は米の収穫量が少なく、幻の米としてももとは地域の人のみで消費していた。そのお米をＪＡたじまの生産者150人が2007年に部会を立ち上げ、生産、普及を進めている。			 出典：兵庫県ＨＰより
(参考ＵＲＬ： http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac02/nh0701t.html)			
連絡先	道の駅 ようか但馬蔵		
	・住所：養父市八鹿町高柳 241-1		
	・電話：079-662-3200		

事例名	旅行会社の商品造成サイクル	分類	4
			ツーリズム
昨今の国内旅行需要の変化に伴い、各地域の持つ固有の魅力を反映させた、より創意工夫豊かな企画旅行商品が求められるようになった。企画旅行商品の造成を旅行会社に働きかけるにあたっては、送客のピークの6～8ヶ月前に旅行会社に提案する必要がある。四半期単位の短期サイクルの商品であっても、3～4ヶ月前には情報を提供しなければなりません。こうした商品造成サイクルを理解した上で、着地側の地域との「連携」・「協働」を図ることが効率的である。		 出典：国土交通省 地域観光促進マニュアルより	
(参考URL： http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kanko/pdf/marketingManual.pdf)			
連絡先	株式会社ジェイティービー ・住所：〒140-0002 東京都品川区東品川 2-3-11		

事例名	「四国八十八箇所地質巡り」による地域のフィールド自然科学教育に関する研究	分類	5
			ツーリズム
四国には日本最大の断層である中央構造線が東西に走り、地球の歴史や土地の形成史を読み取ることが出来る地層が多く露出しているにもかかわらず、一般の人々がその重要性に気づかないまま、安全対策として埋められてしまうものが多い。 専門知識を学ぶ「大学」、多彩な地質を有する四国という「地域」、および地域に生活する「人々」といった三者の相互関係を、地質を通して深めることを目的として、愛媛大学HPにおいて四国の地質を公開するために、文献や野外調査結果よりデータベースを作成している。 現地調査および写真撮影や、アンケート対象人数も不足しているため、今後データベースのアップグレードが必要であるが、この愛媛大学の学生による取り組みは、今後の地域のフィールド自然科学教育推進のきっかけになるだろう。 (参考URL： http://www.ehime-u.ac.jp/topics/kyomu/2008/houkoku/02_rigaku_sugawara.pdf)			
連絡先	愛媛大学理学部生物地球圏科学科 ・住所：〒790-8577 愛媛県松山市文京町 2-5 ・TEL：089-927-9623 ・メールアドレス：g-jimu@sci.ehime-u.ac.jp		

事例名	おおず歳時記探訪	分類	6
			ツーリズム
「水、空気、高さ」が生み出す感動の田舎旅を発信しているのがこのHPである。おおず街なか再生館では、着地型観光に取り組み、これまでも様々なツアーを提供している。 この会社ができたのはH14年、出資していただいた 60名の農家は、まちづくりにご協力していただくという考え方を理解していただき、残りの50%を大洲市が出資してできた会社。 (参考URL：参考 URL：http://www.kurarinet.jp/)			
			出典：おおず歳時記探訪 HP より
連絡先	株式会社おおず街なか再生館（蔵里ネットTMO） ・住所：〒795-0012 愛媛県大洲市大洲6 4 9 番地 1		



出典：おおず歳時記探訪 HP より

事例名	ANA の感動案内人	分類	7
			ツーリズム
現地に暮らし、現地をよく知る案内人が案内する旅でガイドブックやインターネットには載っていない観光地をめぐることができるものを、ANA では感動案内人プランとして発信している。 プランづくりの背景には、国土交通省が推進する観光立国、総務省が推進する地域再生マネージャー制度などとの連動がある。ツアー企画にあたっては、旅行の着地（受け地）側で、ANA グループの支店網（日本国内43支店）の活用と、各地域の自治体やボランティア、NPO 法人が参画。07 年度上期で3,000 人を超える集客。更に今後は年間1 万人ほどを目標に取り組みを進めている。 （参考 URL : http://www.anas.co.jp/kandoannainin/）			
連絡先	ANA スカイホリデー予約センター ・電話：東京 03・6251・8600 その他全国7箇所		

事例名	国際シンポジウムの誘致	分類	8
			ツーリズム
国際コンベンションの誘致に熱心な都市により組織された「国際会議観光都市連絡協議会」への加盟都市として、四国では(財) 高松観光コンベンション・ビューローと(財) 松山観光コンベンション協会があがっている。 これらの都市では、国際会議の誘致に向けて積極的な活動が期待されている。)			
(参考 URL : http://www.jnto.go.jp/jpn/)			
連絡先	総合観光案内所 ・住所：東京都千代田区有楽町 2・10・1 東京交通会館 10 階 ・電話：03-3201-3331 FAX：03-3214-7680		

事例名	山陰海岸ジオパーク	分類	9
			ツーリズム
山陰海岸国立公園を中心とする京都府京丹後市の経ヶ岬から鳥取県鳥取市の湖山池西端を含めた白兔海岸までは、日本列島がアジア大陸の一部であった時代の岩石から、今日に至るまでの経過が確認できる貴重な海岸である。これら地質遺産が連続する京都府（京丹後市）、兵庫県（豊岡市・香美町・新温泉町）、鳥取県（岩美町・鳥取市）が、山陰海岸ジオパーク構想の対象となっている。 火山岩の宝庫である山陰海岸周辺には、激しい火山活動を物語る良質の温泉が点在する。京都府京丹後市は府内の源泉数を誇り、他にも城崎温泉・湯村温泉・岩井温泉など千年以上の歴史をもつ名湯がある。日帰り温泉施設も多くあり、まさに温泉王国といえる。 （参考URL：http://sanin-geo.jp/index.php）		  出典：山陰海岸ジオパーク推進協議会HPより	
連絡先	山陰海岸ジオパーク推進協議会 ・メールアドレス： kikaku@town.shinonsen.hyogo.jp		

事例名	愛媛県内子町における暮らしの文化とまちづくり —データベース化と情報発信—	分類	10
			ツーリズム
過疎化と高齢化により地域の活力に翳りの見られる内子町長田地区において、地域住民と協働で地元学の手法による地域文化・資源の発掘・再評価を実施した。更には、GIS（地理情報システム）などを活用したデータベース化と情報発信を行なうとともに、地域文化・資源を活かした地域活性化のイベント（食の文化祭）を地域住民と協働で実施した。			
（参考URL：http://www.gis.h.ehime-u.ac.jp/hp/gis/town/index.html）			
連絡先	愛媛大学法文学部人文学科地理学教室		
	・住所：〒790-8577 愛媛県松山市文京町3		
	・TEL・FAX：089-927-9305		
	・メールアドレス：jtsu@LL.ehime-u.ac.jp		

事例名	北陸信越の便利な二次交通	分類	11
			広報情報
北陸信越4県の空港・鉄道駅から観光地を結ぶアクセス交通（二次交通）を「二次交通」と呼ぶ。北陸信越地域には、便利な二次交通が多数運行されている。HP上の手順に従って、起点となる空港・駅と目的地を指定すると、便利な交通情報や観光情報などを提供している。 なお、北陸信越運輸局では、「二次交通」の整備・充実にあたり、「公共交通活性化総合プログラム」や「バス利用促進等総合対策事業」等の各種補助制度を活用して支援している。 (参考URL：http://www.t-hrse.go.jp/nijikoutuu/)			
連絡先		国土交通省 北陸信越運輸局	
		・住所：〒950-8537 新潟県新潟市中央区万代2丁目2番1号	
		・TEL：025-244-6118 FAX：025-244-6119	

事例名	携帯情報端末を活用したモバイル学習環境の実現	分類	12
			教育・広報情報
「2005年度の学校教育にIT環境」を想定し、ITを活用した教材・教具（教育用ハードウェア、ソフトウェア等）を学校における授業で実際に利用することによって、それらに求められる要件を研究・調査するとともに、そこで得られた情報やその評価を行うことにより、ITを活用した教材・教具の改良に役立てるものである。 また、ITを活用した授業を実践することを通じ、教育・学習においてITを上手く活用するための工夫・ノウハウ・事例等を収集するとともに、それを、ITを活用した典型的な教育・学習手法として体系化すべく検討を行う。 (参考URL：http://www.marine-world.co.jp/er/pda/index.html)			小学校 年組 記者-0-29 コース：大水そうの魚たち 画像  シロワニ 体長は2.5～3.0mもあり、マリンワールドでは一番大きな魚類です。恐ろしく速く泳ぎますが、獲物をかみ切るのではなく、とがった歯でつかまえて丸のみにして食べるので、あまり大きな獲物は食べません。 出典：水族館マリンワールド海の中道HPより
連絡先	(株) 海の中道海洋生態科学館 ・住所：〒811-0321 福岡市東区西戸崎 18 番 28 号 ・TEL：092-603-0400 ・メールアドレス：info@marine-world.co.jp		

事例名	子どもパークレンジャー事業	分類	13 教育・管理
「子どもパークレンジャー」は、全国各地の国立公園などで、「レンジャー」（自然保護官）や「パークボランティア」の指導や協力のもと、小中学生のみなさんに、国立公園などのパトロールや動物や植物の簡単な調査を行う「プログラム」を体験してもらい自然とふれあい環境の大切さや社会への貢献の心を学んでもらおうというものである。 環境省と文部科学省が協力して、平成 11 年度から行われている。			
出典：環境省HP より			
(参考URL：http://www.env.go.jp/kids/ranger.html)			
連絡先	環境省自然環境局総務課自然ふれあい推進室 ・住所：〒100-8975 東京都千代田区霞が関 1-2-2 中央合同庁舎 5 号館 ・TEL：03-5521-8271 FAX：03-3508-9278 ・メールアドレス：fureai-prize@env.go.jp		

事例名	ドンカッチョにあいたい 鏡町もやい物語	分類	14
			教育
「もやい」とは「みんなですること」「みんなでわけること」「みんなのもの」という意味で、鏡町では、昔から、「もや」という言葉でつかわれてきた。 現代では失せてしまった、水にまつわる「もやい」の暮らしを、子供たちの喜びとエネルギーが画面いっぱいに噴出するような絵と、鏡町独特の方言で表現した「まちづくり絵本」である。 「ざらざらした現実」をこえる「さらさらした未来」への志をかきたててくれている。			出典：鏡町まちづくり 絵本 No. 2 より
連絡先	鏡町まちづくり絵本の会 ・住所：〒869-4202 熊本県八代郡鏡町大字内田 453-1 鏡支所 ・TEL：0965-52-1111 FAX：0965-52-8123 ・メールアドレス：ka-soumu@city.yatsushiro.lg.jp		

事例名	糸魚川ジオパークのガイド事例	分類	15
			人材育成
関係団体と協力してガイド養成の講座を開催し、ジオパーク運営の輪を広げる。			
ガイド養成講座内容			
・糸魚川 - 静岡構造線や「塩の道」として広域連携で売り出している場所を、大糸線頸城大野駅から塩の道をたどり根知まで歩き、道沿いの地質、動植物、文化遺跡などを勉強する。			出典：糸魚川ジオパークHPより
(参考URL： http://www.city.itoigawa.niigata.jp/geopark/GP-shimin-j/shiminnokai-j.html)			
連絡先	新潟県糸魚川市 ジオパーク推進協議会		
	・住所：〒941-8501 新潟県糸魚川市一の宮1-2-5		
	・TEL：025-552-1511		

事例名	フォッサマグナミュージアム	分類	16
			教育
フォッサマグナミュージアムは平成6年（1994年）4月25日に糸魚川市の美山公園にある奴奈川の郷（ぬなかわのさと）に開館した石の博物館である。糸魚川には約5億年前にできたヒスイから今なお活動が続ける焼山火山から噴出した火山岩まで、新潟県最古と最新の大地の歴史が凝縮されている。 ・フォッサマグナにかんする展示 ・糸魚川やその周辺地域から産するヒスイや色々な鉱物、化石、岩石の展示 ・世界中の鉱物、化石の展示		  出典：フォッサマグナミュージアムHPより	
(参考URL：http://www.city.itoigawa.niigata.jp/fmm/)			
連絡先	フォッサマグナミュージアム ・住所：〒941-0056 新潟県糸魚川市一ノ宮 1313（美山公園） ・TEL：025-553-1880 FAX：025-553-1881 ・メールアドレス：museum@city.itoigawa.niigata.jp		

事例名	自治体等によるガイド制度の実施事例	分類	17
			人材育成
1. 北海道アウトドアガイド資格制度 http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/outdoor-guideinfo.htm			
2. 福島県ツーリズムガイド認定制度 http://www.pref.fukushima.jp/kanko/guide/			
3. 東京都（小笠原）自然ガイド養成認定制度 http://www.soumu.metro.tokyo.jp/07ogasawara/39sizenisan/2_9.html			
4. 藤里町認定ガイド養成事業 http://business4.plala.or.jp/sirakami/mousikomu/guide.htm#ask			
5. 乗鞍山麓五色ヶ原におけるガイド制度 http://www.hida.jp/kankouguides/index.html			
6. 屋久島ガイド登録・認定制度 http://www.yakushima-eco.com/			
7. 白馬マイスター制度 http://www.i-hakuba.com/hakuba/			

事例名	屋久島ガイド認定登録制度	分類	18
			人材育成
1. 島の自然や文化などを保全しながら 2. それらを通じて島のよさや自然の大切さを伝え 3. さらに地域振興に貢献する という趣旨のもとに活動するガイドを「屋久島ガイド」として、広く一般の方々 に知ってもらい、ガイド活動の幅をより広げていくと同時に、「屋久島ガイド」を増 やすことで、島の自然や文化の保全、地域振興に繋げていくために作られた。これ は、屋久島地区エコツーリズム推進協議会が島内ガイド事業者の参加を得て定めた もので、エコツーリズム推進の考え方に基づくものである。 (参考URL : http://www.yakushima-eco.com/)			
連絡先	屋久島ガイド登録・認定制度運営委員会（屋久島観光協会内） ・ 住所：〒 891-4207 鹿児島県熊毛郡屋久島町小瀬田 310-1 ・ TEL：0997-49-4010 FAX：0997-42-2117 ・ メールアドレス：yakushima-guide@yakushima-eco.com		

事例名	北海道の地域講演会	分類	19
			教育
北海道では、行政が主催を務め、ジオパーク入門編や、地域防災講演会などを開催。 アポイ丘ファンクラブが後援を務めるジオパーク入門編では、アポイ丘の将来性について地域住民といっしょに考えることを目的に、アポイ丘の学術的重要性とジオパークの魅力について講演。 有珠火山防災会議協議会が後援を務める地域防災講演会では、今後の有珠火山周辺の防災について、地域住民へのアドバイスを実施。 いずれも、講師として北海道大学の協力を得ている。			
連絡先	様似町教育委員会社会教育課 ・ 住所：〒058-8501 北海道様似群様似町大通 1-21 中央公民館内 ・ TEL：0146-36-2521 FAX：0146-36-4210 壮瞥町総務課 ・ 住所：〒052-0101 北海道有珠群壮瞥町字滝之町 287-7 ・ TEL：0142-66-2121 FAX：0142-66-7001		

事例名	愛リバー・サポーター制度	分類	20
			管理
地域住民と行政のパートナーシップを基に、美しい河川環境を創り出そうとする取り組み。住民団体、河川愛護団体、NPO、企業など様々な団体や企業グループ約160団体がこの制度に参画し、定期的な河川清掃活動などを行っている。			
(参考 URL : http://www.pref.ehime.jp/070doboku/040kasen/00002645030326/index.htm)			
連絡先	愛媛県愛リバー・サポーター制度推進協議会事務局(愛媛県土木部河川課河川行政係) ・住所：愛媛県松山市一番町4丁目4-2 ・電話：089-912-2670 FAX：089-948-1475		

事例名	高野町環境維持基金	分類	21
			管理
安心・安全で住みよい環境をつくり、歴史・文化の継承とさらなる魅力あふれる町を創るための地域を基盤とした自治活動へ、多くの関係者が参加できる制度として設立されている。 基金条例を制定し、寄付金による新たな住民参加型まちづくりを進めており、寄付金の使い道としては、歴史的環境保全、美しい街並み保全などがあげられる。 (参考 URL : http://www.town.koya.wakayama.jp/kankyoui_jikikin.html)			
連絡先	高野町役場出納室 財政係 ・住所：和歌山県伊都郡高野町大字高野山 6 3 6 ・電話：0736-56-3000 FAX：0736-56-4745		

事例名	五感文化構想の推進(富士河口湖)	分類	22
			管理
町全体で五感を満喫できる文化・観光施設が整備充実させる町づくりを進めている。具体的には、年間を通したイベントの開催、温泉の掘削、自然・ふるさとガイドツアーの開発、東南アジアのお客さんをターゲットとしたツアー開発などである。活動を牽引役としては観光カリスマの町長。町長を筆頭に、町全体が観光事業や施策に取り組んでいる。 (参考URL : http://www.town.fujikawaguchiko.lg.jp/)			
連絡先	山梨県河口湖町企画課 ・ 電話 : 0555-72-1129		

8. キーワード分類表

○キーワード分類表

出典:「ジオパーク 地質遺産の活用・オンサイトツーリズムによる地域づくり」(オーム社・平野勇著 2008)

ジオパークの題材として考えられるものの例

①現在までの地質現象	・フィールドの地質や岩石の地質学的特徴, 形成過程やメカニズムを過去から現在までにわたって, 鉱物から全地球的な視点で語る
②現在起こっている地質現象	・フィールドで認められる現在の地質現象(風化, 浸食, 堆積, 火山活動など)の形態, プロセス, メカニズムを語る
③地質と地形	・フィールドで認められる地形特性や地形現象を①, ②や気象・気候と関連づけて語る
④地質・地形と生態系	・フィールドにおけるさまざまな生命現象と生態系を①～③や気象・気候と関連づけて語る
⑤地質・地形・生態系と自然景観	・フィールドの自然景観を①～④や気象・気候と関連づけて語る
⑥自然と今ある人々の暮らし	・人々の暮らしや土地利用のあり様を①～⑤や気象・気候, 歴史, 文化を交えて語る
⑦自然と昔の人々の暮らし	・昔の暮らしや土地利用のあり様を①～⑥や歴史的知識と情報, 地域の伝承を交えて語る
⑧自然と太古の人々の暮らし	・太古の暮らしや土地利用のあり様を①～⑤や考古学的知識と情報を交えて語る
⑨都市を支える地盤	・大都市を支える地盤について①～⑥と関連づけて語る
⑩地質と社会インフラ	・社会インフラの役割と整備を①～⑥や気象・気候と関連づけて語る
⑪人々の暮らしと洪水災害	・水害と人々のかかわりを①～⑦や気象・気候と関連づけて語る
⑫人々の暮らしと斜面災害	・地すべりや崩壊など土砂災害と人々のかかわりを①～⑦や気象・気候と関連づけて語る
⑬人々の暮らしと地震災害	・地震災害と人々のかかわりを①～⑦, ⑨, ⑩や地震断層(地震のメカニズム), 震災, 防災などと関連づけて語る
⑭人々の暮らしと火山災害	・火山災害と人々のかかわりを①～⑦や火山の構造, プロセス, メカニズム語る, 防災などと関連づけて語る
⑮自然と人間活動が創り出す風土	・自然と人々の暮らしや歴史, 文化, 風土を①～⑭や気象・気候を交えて語る
⑯地質的視点から景観を鑑賞する	・景観形成のプロセスと地質の役割, ①～⑤を把握しながら景観を鑑賞する
⑰地質現象を楽しむ	・温泉の地下構造, プロセス, メカニズム, 水質, 入浴法, 効用などを知って楽しむ
⑱地質を探検する	・地質オリエンテーリング(ウォーキングと地質観察/擬似地質踏査) ・鍾乳洞, 溶岩トンネル, 波食洞の地質, 構造, 形成プロセス, 生態系などを探検しつつ観察する
⑲地質を利用する	・鉱山(地質・鉱床・採掘・選鉱・精錬など, 佐渡・石見・別子・鯛生・夕張などテーマパーク化しているものも多い)を語る ・窯業(原材料の地質的成因, 特徴, 採掘, 陶土精製および陶芸, 鑑賞)を語る
⑳地質からの贈り物	・地下水や湧水(地質, 水理構造, 水質, 浸透プロセス, 利用形態)を語る

ジオパークの素材として考えられるものの例

地質素材	地質断面	露頭 掘削のり面 土壌断面 土質断面 洞穴 素掘坑道 トンネル
	地質材料・構造	鉱物 岩石 堆積構造 堆積環境 地質構造
	古生物	化石 生痕化石 古生態
	地質現象	噴火 噴気 地獄 温泉 変質 緩み 風化 浸食 堆積
関連素材	水 文	地下水 湧水 溪流 瀑布 河川 湖沼 海洋
	地 形	堆積地形 浸食地形 変動地形 災害地形
	生 物	植生 生態系
	景 観	景色 展望 見晴らし 生態景観
	人 文	風土 遺跡 歴史 文化 土地利用 都市計画
	資 源	鉱山 採石場 水力発電 地熱発電 産業遺産
	建造物	ダム トンネル 橋梁 地下構造物 防災施設 土木遺産 歴史的建造物